

津市立豊里中学校 部活動 基本方針

1 目標

- ・ 集団の一員として望ましい資質や態度を養い人間としての調和のとれた成長を図る。
- ・ 豊かな教養と健全な趣味や特技を養い、心身の健康に努め個性の伸長を図る。
- ・ 生涯にわたるスポーツ、文化に関わる習慣を培い、生涯学習の基礎を養う。

2 指導方針

- ・ 自主加入制とするが、中学生のうちに一度は部活動を経験するように奨励する。
- ・ 3年間継続することや学習と部活動の両立をめざし相談、助言する。
- ・ 顧問は連携を密にし、相互の協力のもと、部の活動全般を把握し運営する。
- ・ 部員および保護者との連携を密にし、部員の自主、自律的な活動を図る。
- ・ 大会、発表会等に参加し、向上心を養うとともに交流を図る。
- ・ 挨拶や返事、礼儀を重んじる態度を養う。

3 入(退)部

- ・ 全学年、年度始めに「入部届」を提出（担任→顧問）し正式入部とする。
- ・ 1年生については部活紹介、入部受付期間（見学、体験）を設ける。
- ・ 退部（転部）するときは顧問、担任及び保護者とよく相談してから「届」を提出する。
（退部届は、担任が管理する。）

4 活動日・活動時間

- ・ 津市立中学校部活動指針を順守する。
- ・ 月曜日は原則ノークラブデーとする。
- ・ 平日は週1回、土日はどちらかの日を休養日と設定する。
- ・ 予定表を作成し、管理職の許可を得てから、生徒保護者共に活動日、休養日を事前に知らせる。
- ・ 顧問がいて活動することを原則とする。一番早く来る生徒が学校に着くまでには顧問がいることと、顧問が鍵を生徒に渡すのが原則。
- ・ 最終の施錠や下校指導後の門扉の確認は顧問がおこなうこと。
- ・ 大会や発表会等で終了時刻を延長する場合は保護者の同意を得る。また、朝の打ち合わせ等で職員に連絡をする。（原則1週間前から）
- ・ 活動時間は、準備や片付けの時間を含めず「平日2時間」「休日3時間」程度を原則とする。
- ・ 休日の活動についても、学校のきまりを守ること。

5 特別日課の扱い

①始業式・終業式・修了式

- ・ 原則、再登校の必要がないよう開始時間を設定し、活動できる。
- ・ 活動時間は平日の扱いとする。

②テスト期間

- ・ 中間テスト前 5 日間、期末テスト前 7 日間は早朝練習も含めて「部活停止日」とする。
- ・ 大会や発表会等でテスト期間に練習をおこなうことがやむを得ない場合、保護者の同意を得る。また、朝の打ち合わせ等で職員に連絡をする。

③校外学習等 ・ 該当学年で事前に指示を出す。

④入学式・卒業式

- ・ 生徒・保護者等の動きを考慮しながら、開始時間を設定し、活動できる。
- ・ 活動時間は平日の扱いとする。

⑤学期末短縮日課

- ・ 原則、再登校の必要がないよう開始時間を設定し、活動できる。
- ・ 活動時間は平日の扱いとする。

※原則、再登校させないような設定時間の指示をする。

6 昼食（半日日課時の弁当）

- ・ 昼食は、各部定められた教室で感染症予防対策を行ったうえで、喫食すること。決められた時間までに美化、施錠をする。
- ・ 昼食を買うための外出は禁止。

7 部室および鍵の管理

- ・ 部室は各部において管理し、整理整頓を心がける。練習前に職員室の所定の場所から鍵を持って行き、終了後必ず返却する。
- ・ 鍵は勝手に無断で持ちださないこと。（キーボックスや先生の机等より鍵を持ち出す場合は、必ず職員室の先生の許可を得ること。）
- ・ 早朝練習では、7 時 20 分から顧問の先生を通じて鍵を受け取ることができる。

8 引退後の部活動について

- ・ 詳しくは別紙参照（3 年生に 3 学期に配布予定）。
- ・ OB 戦やお別れ試合などのイベント等については別紙の規定を満たしていなくても参加させて良いが、時期を熟考したうえでケガ等のリスクに十分配慮し実施すること。
- ・ 継続的な部活参加については別紙の規定（3 年生に 3 学期に配布予定）を満たしている者のみとする。